

伊 藤 正 信 議員



市長の行政運営について伺う

問 市長の行政運営について伺う。

費用対効果を求めて運営したい

答 市長

市政運営の基本は、市民の声を聞きそれを行政に生かしていく、また、税金の無駄遣いの無いように、常に費用対効果を求めて運営にあたりたいと考える。

問 施政方針の中で人事の刷新と書かれたが、どのような形で行うのか。

答 市長

職員の評価が恒常的に実施されていないため、客観的な評価制度を職員にあってはめて行っている。

人事の刷新という意味合いは、適材適所という形の中で使用した言葉である。

問

市長は無党派だと聞いたが、推薦はがきには、民主党県議団長の名前が載っている。

答 これは誰の紹介で使用されたのか。

答 市長

推薦はがきに関すること、私の後援会が行っていることである。

問

市長の選挙公約である15歳までの医療費無料について、すでに12月議会で決定した事項であることをどのように考えるか。

答 市長

その解釈について賛成すると、同義語で述べたものである。

市長の資産公開条例の考え方は

問 市が告発を受けた市長の資産公開条例についての考えは。

今後、見直す方向で検討したい

答 総務部長

一番最初に任期となったところを任期の初めという解釈をし、公開を行っていく。県内を調査すると同様の所もあり、4年ごとの初めが任期だとしてその都度、公開を行う自治体もある。

基本的には今後、できれば見直すような方向で検討していきたいと考えている。この問題については、条例上の運用の解釈の仕方もあり、どの方法が正しい悪いということはいえないものだと考えており、これま

で市においてはそういう運用の仕方での解釈をしてきたものである。

総合計画に対する考え方は

問 これからの総合計画への取り組みに対する考え方は。

公募委員による提言等を反映したい

答 市長

合併時に策定した新市基本計画と、計画期間延長を行った弥富町総合計画を基に運営する。

今後は、住民参画の一環として、公募委員によるまちづくり方策を検討する会議を開催し、その提言等を反映したい。

本年度は、基礎調査や提言などを基に計画の素案をまとめ、審議会を中心に検討を進めたい。